

保護者等からの事業所評価の集計結果（公表）【児童発達支援】

公表：2023年3月31日

事業所名：たすく療育・国立 保護者等数（児童数） 9 名 回収数 9 名 割合 100 %

保護者等からの事業所評価の集計結果(公表)							
	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	78%	11%	11%	0%	運動のスペースは今後長く通うとなるとやや狭いのではないかとと思う。	
	2 職員の配置数や専門性は適切であるか	56%	33%	0%	11%	・先生の専門性は段違いに高く、いつも相談できる基地になっている。親だけでなく、本人もたすくに行く？と楽しみにしている。小学生までに身に付けたい姿勢をしっかり身に付けさせてくれ、おかげさまで学習の内容の是非を考えられる段階になってきた。 ・50分程度の時間なので、資料や専門的な話を後日メールなどで展開してほしい。先生が一人ついていて、毎回ルーティンワークな点は保育園と変わらないので、もう少し専門性を発揮、情報提供してほしい。独自教材の購入などあるが、市販のものでも対応できるよう、工夫してほしい。	
	3 生活空間は、本人にわかりやすい構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	67%	22%	11%	0%	事業拡大のためとは思いますが、体制において、時間や場所が変わることが多かった。	
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか。	78%	22%	0%	0%	万が一、窓からの転落防止のため、子どもがいる時間は窓を開けないか、窓の閉閉が自由にできないような窓のロックを設置してほしい。	
適切な支援の提供	5 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画が作成されているか	67%	22%	0%	11%		
	6 児童発達支援計画には、「児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	56%	11%	0%	33%		
	7 児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	67%	11%	0%	22%		
	8 活動プログラムが固定化しないよう工夫されているか	33%	33%	33%	0%	・同じプログラムを繰り返すことにより、身に付ける型があるため、ある程度固定化している。成長の段階を見極めて新しい課題も少しずつ入っていく。その必要性についても親へ理解を促し、情報提供くださっている。 ・活動プログラムは、半年間ほぼ同じで、絵本が変わったくらい。ルーティンワークにして、身体で覚えるためだと思うが、変化がなかなかない。本人の成長が遅いため、やむを得ないと思うが、支援計画に沿ってもう少し日々で日常取り入れられる説明がもっとほしい。 ・習得に時間がかかるのはわかるが、いろいろなことを取り組みに入れてほしい。	
	9 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	67%	11%	22%	0%		
保護者への説明等	10 運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	56%	33%	11%	0%	費用については一覧表などで、今後必要となるグッズなど事前の説明があるべきかと思われるます。	
	11 児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされたか	67%	11%	0%	22%		
	12 保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)が行われているか	67%	33%	0%	0%	特にペアレントトレーニングもしっかりやっています。	
	13 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	89%	11%	0%	0%		
	14 定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	78%	22%	0%	0%		
	15 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	44%	11%	11%	33%		
	16 子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されているか	67%	22%	0%	11%		
	17 子どもや保護者との意思疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	67%	22%	11%	0%	・50分の療育時間ではなかなか先生と話す時間もなく、療育をして終わることが多いため、メールなどでその日の療育でのねらいや課題、発達に合わせた情報提供があるとありがたい。こちらから質問すれば答えてもらえるのがせいぜいで行くだけになりがち。 ・スタッフの数が必要になるが、親とスタッフが話している時間は子どもにはスタッフが関わってほしい。また、スタッフの理想や模範解答はお話していただいた上で、現実にはなかなか完璧にはいかず、親の育児面の疲労や家庭環境なども配慮したアドバイスもほしい。	
	18 定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されているか	78%	11%	11%	0%		
19 個人情報の取扱いに十分注意されているか	78%	0%	11%	11%			
非常時等の対応	20 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、保護者に周知・説明されているか。また、発生を想定した訓練が実施されているか	22%	11%	33%	33%		
	21 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	0%	0%	33%	67%	必要な備えであると思うので、今後説明や訓練の機会があると、より安心出来ると思う。	
満足度	22 子どもは通所を楽しみにしているか	56%	44%	0%	0%		
	23 事業所の支援に満足しているか	78%	22%	0%	0%	ご褒美も魅力的で、そのために頑張っている。訓練は苦痛になるのではなく、兄弟児も含めて楽しい思い出となってきているように思うため、家族全体のサポートも強い。無理を言ってたくさん助けてくださっている。	